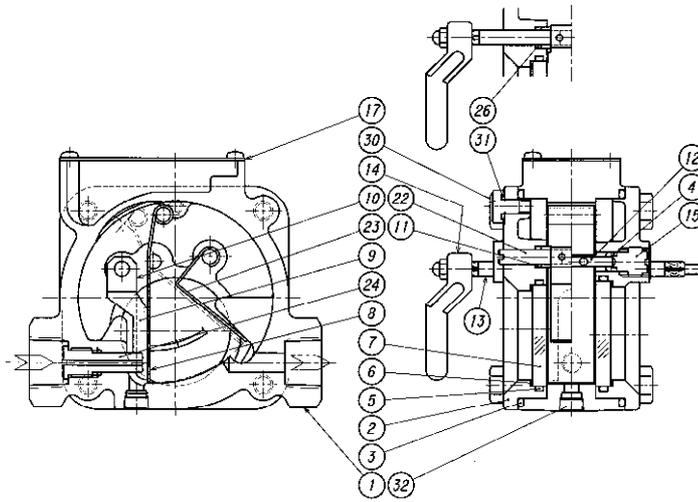


TYPE: -SSHB

ワイパー内蔵 CLEAR FLOW GAGE

OPERATION MANUAL

※-(NF)：ニップルフランジ型にも適用



部品表			
符号	部品	数	備考
1	ボディー	1	
2	カバー	2	
3	Oリング	2	
4	Oリング	2	
5	Oリング	2	
6	クッションガスケット	2	
7	サイトグラス	2	
8	フラッパー	1	
9	フラン	2	
10	フラシホルダー	1	
11	Oリング	2	
12	スピンドル	1	
13	フラシハンドルシャフト	1	
14	ハンドル	1	
15	ヒボットビス	2	
17	カバー	1	
22	フラッパー戻しシャフト	1	
23	フラッパー戻し板	1	
24	スズ	1	
26	Oリング	2	
30	プラグ	2	
31	Oリング	2	
32	プラグ	1	

※材質は納入図面を御参照下さい

構造：

フラッパー開度とサイトグラス目盛により流量ならびに流体の確認が可能です。

本体内蔵のワイパーブラシを御使用いただくことで、

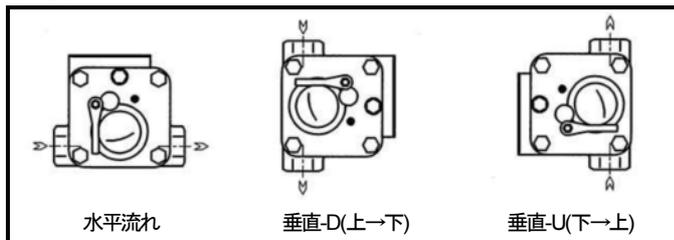
1. サイトグラスに付着した水垢ならび汚れの除去
2. フラッパーならびスピンドルの固着防止
3. フラッパー周辺部のゴミ等の付着防止

等が可能です。ワイパーブラシ機構の利用度は高いものがあります。

管接続時の確認：

1. 水平方向に取付ける場合、本体が傾かないように取付けて下さい。
2. 配管規格・サイズが違っているものを、無理に接続しないで下さい。
3. 配管サイズが本体に直接かからないように注意して下さい。

取付イラスト：



正しい姿勢・方向で取付けて下さい、誤った取付けは故障の原因となります。

※精度保証の為の直管部 … 前後 3D (口径の3倍)

※破損の要因となりますので、逆流はさせないで下さい。

メンテナンス：

1. サイトグラス内面掃除

- ⑦サイトグラスに水垢等の汚れが付いた時、⑧フラッパーの動作が正常か確認する時に⑭ワイパーハンドルを数回回転して下さい。

著しく汚れる前に、定期的にご実施していただくことが有効です。



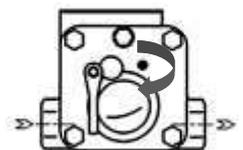
※ワイパー操作終了後は、⑨フランが⑧フラッパーの動作を妨げないように0目盛以下に格納して下さい。

2. フラッパーが戻らなくなった時

- ⑫フラッパー戻しシャフトを操作することで、⑬フラッパー戻し板により、フラッパーを強制的に0目盛方向に押し下げることが出来ます。

フラッパーがカムズに動かない時は、

ワイパー操作と併用することで正常に戻ります。



3. ボディーの分解掃除

- 1) ⑭ハンドルの袋ナットを外し、ハンドルを⑬フラシハンドルシャフトから抜き取ります。
- 2) ハンドルを取外した側の②カバーからボルトを外します。
- 3) フラシハンドルシャフトが①ボディー側に残るように、カバーを外します。この時、⑦サイトグラスカバーと一体になっています。
- 4) ボディーに残っている⑫スピンドルならび⑧フラッパーを取外して下さい。
- 5) 取外したスピンドル、フラッパーならびボディーの内面を掃除して下さい。

以上で分解掃除は完了です。

組立は、分解順序の逆に行なって下さい。

※分解掃除を実施する時はOリング交換も併せてお願い致します。

パッキン類の再利用は、漏れにつながる恐れがあります。

※スピンドルを組付ける時には、⑨フランと⑬フラッパー戻し板でフラッパーを挟み込んで固定した状態で、組付けて下さい。

TAIYO VALVE MFG. CO., LTD.